

平成 26 年度  
北海道赤レンガ建築賞  
候補作品募集要領

近年、北海道の文化の発展や道民の生活環境の向上、美しい景観の形成や地域経済の振興などに建築物の果たす役割が、ますます重要となっています。

道では、建築文化の向上や、地域に根ざしたまちづくりの推進を図ることを目的として、地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物を「北海道赤レンガ建築賞」として表彰しております。

27回目の今年の本要領により募集を行いますので、地域性に配慮し、歴史・風土に調和した美しい景観を創造する優れたデザインの建築物のご応募をお待ちしています。

## 賞

北海道赤レンガ建築賞	1 点	銘板、表彰状
北海道赤レンガ建築奨励賞	数点	表彰状

それぞれ、北海道知事が建築主、設計者、施工者を表彰します。

## 募集対象

北海道内に建設され、平成 26 年 3 月 31 日までに竣工した新築及び改修建築物及び建築物群とします。

なお、竣工後の経過期間がおおむね 3 年以内のものが、応募の対象となります。ただし、個人の利用に限定されるものは除きます。

## 応募の方法

応募は、建築主・設計者・施工者いずれの方でもかまいませんが、あらかじめ他の表彰対象者の了解を得るものとします。

応募用紙は、北海道建設部住宅局建築指導課のホームページ（下記 URL）からダウンロードのうえ使用してください。

応募は、規定の応募用紙に必要事項を簡潔に記載し、必要な図面、写真などを適宣貼付のうえ提出してください。

なお、応募時に提出された図面・写真等は、原則として返却いたしません。

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/>

## 応募登録料

応募作品 1 件につき  
5,000 円

振込先：北洋銀行 本店営業部 (普) 2224441

口座名：北海道赤レンガ建築賞実行委員会

※振込手数料については、各応募者においてご負担願います。

## 募集期間

平成 26 年 8 月 1 日 (金) から

平成 26 年 9 月 1 日 (月) まで

## 審査委員会

委員長 大野 仰一 (東海大学)

副委員長 上遠野 克 (公益社団法人 日本建築家協会北海道支部)

委員 安藤 敏郎 (一般社団法人 北海道建築士事務所協会)

委員 瀬戸口 剛 (北海道大学大学院工学研究院)

委員 本間 恵美 (一般社団法人 北海道建築士会)

## 表彰時期

平成 27 年 1 月下旬 (予定)

## 主催者

北海道

一般財団法人 北海道建築指導センター

公益社団法人 日本建築家協会北海道支部

一般社団法人 北海道建築士会

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

一般財団法人 北海道建設技術センター

## 提出先及び問い合わせ先

北海道建設部住宅局建築指導課

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

TEL：011 - 231 - 4111 (内線 29 - 465)

FAX：011 - 232 - 0147

URL：<http://www.do-sumai.jp/>

## ■応募用紙記入要領

- 1 応募用紙は、1 ページ URL よりダウンロードのうえ、使用してください。
- 2 応募用紙は白色としてください。
- 3 応募用紙〇には、必要事項を記入してください。（ワープロ打ちなど、読みやすい字体で作成してください。切り貼りも可能です。）  
応募用紙1、2には、応募作品の図面・写真等を書き込み、または貼り込んでください（応募用紙1のみで施設概要を全て表現できる場合は、応募用紙〇、1の二枚による応募も可能です。）。  
応募に使用できる用紙は、〇、1、2の3枚以内とし、別紙の添付は、建築主・設計者・施工者等が複数名により、応募用紙〇の記載欄が不足する場合のみ可能です。その他の事項については、必ず応募用紙〇、1、2の3枚に納めてください。
- 4 応募用紙には、次の図面・写真は必ず記載、または貼り込んでください。
  - ・ 配置図
  - ・ 代表的な階の平面図
  - ・ 断面図（内部空間の状況がわかるもの）
  - ・ 外観写真（周辺の状況もわかるもの）
  - ・ 内観写真その他、必要に応じて、図面や写真により、施設概要を的確に表現してください。

## 申込事前調書

提出可能期間 平成26年 7月 22日（火） から  
平成26年 8月 11日（月） まで

上記期間内に、下記のサイトの申込事前調書メールフォームにより、応募予定建築物の情報を事前にお知らせいただいた上で応募された方には、「平成25年度北海道赤レンガ建築賞作品集」（非売品）を差し上げます。

なお、当該作品集は数に限りがあるため、予定数に達した際には期間内においても作品集の贈呈を終了とさせていただきますので、ご了承ください。

また、本調書の提出は任意ですので、提出の有無は応募要件では無いこと、そして、審査への影響はないことを申し添えます。

<http://www.do-sumai.jp/>

## お知らせ

過去の受賞作品をまとめた冊子「北海道赤レンガ建築賞（1988～2007）」を、一冊500円（税込）で販売しております。

購入を希望される方は、道庁建築指導課（電話：011 - 231 - 4111（内線29-465））へご連絡いただくか、または、下記のサイトにより購入方法をご覧ください。

[http://www.do-sumai.jp/weblog02/2009/10/post\\_25.html](http://www.do-sumai.jp/weblog02/2009/10/post_25.html)

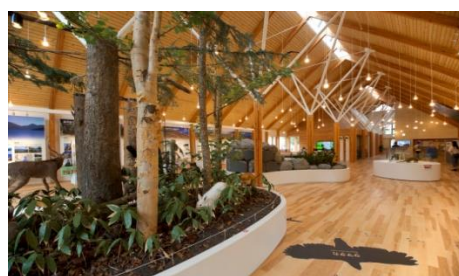
## 平成25年度北海道赤レンガ建築賞 受賞作品の紹介

### ◇ 北海道赤レンガ建築賞 ひがし大雪自然館



ひがし大雪自然館は大雪山国立公園内に建設され、板張り外壁に切妻三角屋根の単純な構成は力強い接地性を示し、街にとって景観上の重要なランドマークとなっています。

施設は、環境省管轄ぬかびら源泉郷ビジターセンターと上士幌町立ひがし大雪博物資料館の二つが合築して一体の内部空間をつくり、施設を利用した様々な活動に対応するもので、町と国が連携して整備運営するという全国的にも例がない試みです。



合築による施設機能の強化は、地区外来訪者ばかりか地域の子供たちや暮らす人々にとって、地域風土の動植物や歴史に対しての知的要求に十分こたえる施設内容であり、地域社会の発展と熟成に大きく貢献したとして評価されました。

### ◇ 北海道赤レンガ建築奨励賞 恵庭市黄金ふれあいセンター



黄金ふれあいセンターは地域交流の核として地域に計画されました。

計画当初より、地区住民の意見を徹底的に取り込む仕組みを作り、時間をかけて意見の調整を図ったことが、結果的に高い施設利用率と新たな交流を効果的に育んでいます。

開口部や分節化した空間同士の視線の抜けや、用途を特定させない曖昧な空間などが全体に散りばめられて、常に人の活動の気配が干渉し合いながら活気を醸しだしています。地域交流のための様々な機能を複合的に持つ施設が、地域コミュニティの熟成を支援するように、大小の空間を「ゆるやか」に連続させた計画が評価され、地域社会のさらなる発展の可能性を示した創造性豊かな建築物として奨励賞を受賞しました。